

研究課題名	腎移植後のバスキュラーアクセス閉鎖術の術後成績に関する検討
研究の意義・目的	腎移植後に血液透析離脱となり必要がなくなった内シャント閉鎖する手術について、その閉鎖方法や、成績、合併症、長期的な術後成績を検討します。それにより腎移植後の内シャント閉鎖の意義を明らかにします。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2025年12月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科で腎移植を施行された患者さんで、2008年1月～2021年4月までにシャント閉鎖術を施行した患者さんが対象になります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：【年齢、透析歴、性別、透析導入原疾患、既往歴、合併症の有無、腎移植日、移植条件、拒絶反応の既往、免疫抑制剤、シャント閉鎖術式、シャントの種類、シャント閉鎖の理由、シャント閉鎖日、血液検査結果、身長、体重、血圧、脈拍、体温】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器科学 研究責任者 黒木慶和
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 (担当者氏名) 黒木 慶和 電話番号：(06) 6645-2366 メールアドレス：yoshikazu.kuroki@med.osaka-cu.ac.jp